

功績をたたえます

瑞宝双光章

くろせ かんじ
黒瀬 官治さん

(88・八幡町)



「光栄に存じ、感謝いたしております。八十八歳まで長寿を得て、労っていただきありがたい限りです」。

黒瀬さんは岡山県に生まれ、昭和26年から、高梁中学校、津川中学校、松原中学校、宇治中学校を教諭として歴任し、昭和58年から中井中学校、昭和60年から巨瀬中学校でそれぞれ校長を務め、地域の教育の発展に貢献しました。その後、市教育委員会社会教育指導員を経て、平成4年から13年間にわたり高梁公民館長として、地域社会の振興に尽力しました。

栄光をたたえます

全国大会出場

第36回全日本大学ソフトテニス王座決定戦
(6月22日～24日・東京都)

吉備国際大学ソフトテニス部

- 岩瀬 禎宏(4年) 越智 奨太(4年)
- 小林 直樹(4年) 藤田 健輔(4年)
- 中家 卓哉(3年) 牧野 孝紀(3年)
- 村上 駿平(3年) 山田 広起(3年)
- 岩瀬 隆俊(2年) 植木 基行(2年)



問 秘書政策課 ☎(21)02110

協力隊がゆく^⑭

有漢町担当の坂本です。

7月で地域おこし協力隊として3年の任期が終了しました。

これまで多くの方々に、協力や応援、ご指導をいただきました。ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願ひします。



坂本陽隊員 (有漢地域)

たのではないかと思っています。

そして、今年の3月に結婚し、妻と2人で有漢町で暮らす中で、独身の時よりも、同世代の重要

私が3年前に高梁へやって来た時の目的は、今と変わらず、新規就農でした。農業技術の習得を目的として、色々な農家・法人を訪問、研修させてもらい、知識、技術を身に着ける時間をいただきました。

また、山(イノシシ)の捕獲・食肉化や山菜採り)や農業(農産物の加工や栽培体験)を題材とした移住者との交流会を実施しました。その他にも、地域イベントの支援や自身で企画したイベントなどを行い、地域の活性化の一助となれ

性を強く感じるようになりました。地域おこし協力隊も含め、過疎化が進む各地で若者の獲得競争がとて激しくなっています。移住者を呼び込むのは大変なことです。まずは自分が移住し、定住していくモデルの一つとなれるように、しっかりと地に足をつけて生活したいと思えます。

私の周りに数多くある、成熟し洗練された素晴らしいものを取り入れて、これからも新しいことに挑戦していきたいです。



新規就農に向けブドウ農家で研修を行う坂本隊員